

## ① ビジョン検討部会

### (ア) 部会の目的

将来のまちづくりに向けて、未来ビジョンの将来都市像の1つである将来目標（数値指標）及び土地利用方針を定めることを目的とする。

### (イ) 開催概要

#### 【第1回】

日時	令和6年12月20日(金) 10～12時
場所	知立市役所 第6会議室
参加者	知立まちづくり株式会社、知立市商工会、株式会社藤田屋、株式会社FUJI、名古屋鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、知立市経済課、大日本ダイヤコンサルタント株式会社 計15名
議事要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 将来目標の設定については事務局案で概ね理解を得られたものの、未来ビジョンのまちづくり方針との関連性や目標値の設定等の表現については引き続き検討する。</li><li>・ 土地区画整理事業を経てこれから開発が進んでいくエリアの特性上、賑わいや人通りに関する指標等についてもモニタリング指標を設定しながら、まちの動向を検証していくことを検討する。</li><li>・ まずは、官民の各関係者の所有するデータを整理しながら、目標設定と指標の構造を整理し、継続性や持続可能性を考慮してオープンデータ等を活用した代替指標の検討等も行うこととする。</li></ul>

#### 【第2回】

日時	令和7年2月20日(木) 10～12時
場所	知立市中央公民館 第2展示室
参加者	知立市商工会、株式会社藤田屋、株式会社FUJI、名古屋鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、知立市経済課、大日本ダイヤコンサルタント株式会社 計12名
議事要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第1回の議論を踏まえた将来目標の修正案について概ね合意を得られたが、目標値の検証や見直し等は引き続き議論を行う。</li><li>・ エリアの活動に資する実効的な分析への活用のために、量的な評価だけではなく、駅乗降客の属性やモニタリングのためのデータの取得、その精度など、質の議論についても検討を続ける。</li><li>・ 将来目標の実現のために必要な取り組みの方向性や量の積み上げが重要であり、ベンチマークとなる地域や事例などの収集、必要に応じて視察等も検討する。</li></ul>